

全国統一小学生テスト 対策授業

国3年生
語生

① 物語文の読み方

◆ 場面を読みとろう

① 場面とは

童話や物語の中で、時間や場所、できごとなどによって分けられる一つのまとまりを「場面」といいます。童話や物語は、いくつかの場面からできています。どんな場面かをつかんでいくことが、話のすじや登場人物の気持ちを理解する大きな手助けとなります。

② 場面をつかむには

・「時（いつ）」を読みとろう
時間や季節などがわかる表現をみつけましょう。

…さきのう・十年前・さくらの花がさき（春） など

・「場所（どこで）」を読みとろう

どんな場所なのかわかる表現をみつけましょう。

…東京に着くと・教室では・波の音が聞こえてきた（海の近く） など

・「登場人物（だれが）」を読みとろう

人の名前や人との関係、名前のついていない人もみつけましょう

…まさきは・いちばんなかのいい友だち・五才くらいのもとも など

・「できごと（どうした）」を読みとろう

登場人物の行動に注意しましょう。「何がどうなったのか」を読みとること

は、とても大切なことです。

◆ 気持ちを読みとろう

① 気持ちを書かれていることばを見つけよう

〈へれい〉

小さな女の子がひとりでなっています。わたしたちは、心配になって、車をおりました。

わたしたちは、「心配な気持ち」になっています。

では、なぜ「心配な気持ち」になったのでしょうか。

それは、「ひとりでないでいる小さな女の子を見かけたから」です。

このように、人が、ある気持ちになるのには、何か理由があります。気持ちを読みとるときは、かならず「なぜそういう気持ちになったのか」を考え

ましよう。

気持ちをあらわすことばには、「うれしい」「悲しい」のように、気持ちをそのままあらわしたことばと、「わくわくする」「気にかかる」のように、どのような気持ちをあらわすのかを知らない、気持ちがわからないことばがあります。

「わくわくする」は「楽しいことを期待する気持ち」、「気にかかる」は「心配する気持ち」をあらわすことばです。気持ちを讀みとるためには、このようなことばの意味を、たくさんおぼえることも大切です。

② 表情やようすが書かれている部分を見つけよう

〈れい〉

テストの結果がわるかったので、家の近くまでくると、ゆりこの足は重くなりました。

「足が重くなる」というのは、歩くようすをあらわしていますが、足が進まなくなるようすから、「家に帰りたくない」という気持ちが讀みとれます。

ほかに、「顔が赤くなる」のようなことばがあります。「顔が赤くなる」からは「はずかしい気持ち」が讀みとれますね。

③ 動作や会話が書かれている部分を見つけよう

〈れい〉

よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出しています。それを見て、なぎさはかけよりました。

「かけよりました」という行動だけでは、気持ちはわかりません。けれども、「よちよち歩きの妹が、まどから身を乗り出している」というようすがわかっていけば、「かけよりました」という行動から「妹を助けなければ」というなぎさの気持ちがわかります。

◆ 登場人物の性格を讀みとろう

① 人物の性格とは

人物の気持ちは、いろいろなできごとによってへんかしますが、人物の性格は、作品を通してわかることはありません。

童話や物語では、登場人物、とくに主人公の性格が、作品でいちばんつたえたいことをあらわしていることも多いので、性格を讀みとることはとても大切です。

② 性格を讀みとるには

・性格をそのままのべていることばを見つけよう

〈れい〉
やさしい人・明るい子 など

・顔かたちやすがたについての表現を見つけよう

〈れい〉
目じりがつりあがっている（こわそう） など

・年れいや身分などについての表現を見つけよう

〈れい〉
新しいランドセルをしょって（一年生）
指には大きなダイヤモンド（お金持ち） など

・動作や会話からその人の性格をとらえよう

〈れい〉
川でおぼれている人を見つけると、すぐに川へとどびこんだ（勇気がある）
「荷物を持ちましょうか」と声をかけた（親切） など

② 文章問題にチャレンジ！

次の文章をよく読んで、後の問いに答えなさい。

ぼく、やすみ時間に、校庭の鉄ぼうで、さかあがりの練習をしていたんだ。なにしろ、クラスの男の子は、もう、半分いじょうでできるから、ぼく、負けちゃたいへんだとおもって、むちゅうで、練習してたのさ。

そのとき、鉄ぼうのそばに、五年の女の子が、四、五人かたまつて、べちやくちゃ、しゃべっていたんだけど、そのなかのひとりが、こういっているのがきこえたんだ。

「かわいいじゃない、あの子。あんな子が、弟だったらいいわね。」
すると、だれかが、ア あいづちをうって、

「ちよっと、○○○○みたいね。」
なんて、いうんだ。

○○○○っていうところ、よくきこえなかったけど、たぶん、テレビドラマにでてくる子どもの名まえだとおもうんだ。

ぼく、鉄ぼうにつかまりながら、おもわず、イ 赤くなっちゃった。だって、そのとき、男の子は、ぼくしかいなかったから、ぼくのこと

をいったのにきまっているもの。

ぼく、とっても、はずかしかったけど、でも、わるい気持ち^{きもち}はしなかったな。だって、**ウ**∨なんていわれるよりも、**エ**∨∨っていわれるほうが、そりゃ、だれだって、いいものね。

それから、まもなく、チャイムがなったので、ぼく、げんきよく、教室にかけていったんだ。

そうしたら、その時間は、国語の書き取り^とのテストがあったんだけど、それがすらすらできちゃって、満点^{まんてん}まちがいなし、っていうすごい成績^{せいせき}なんだ。

それで、**オ**ぼく、その日、上ぎげんで、家にかえてきたのさ。

ランドセルを家において、原田^{はらだ}くんの家にあそびにいこうとしたら、ママ、

「ずいぶん毛がのびてるわよ。理はつ店^{りはつみせ}にいつてらっしゃい。」
って、いうんだ。

いつもなら、こんなとき、

「なに、へいき、へいき。」

そういって、かまわずにあそびにいっちゃうんだけど、その日のぼく、ちよつとかんがえてから、

「**カ**うん。そうするかな。」

すなおに、そうこたえちまったんだ。

五年生の女の子に、「かわいい子ね」って、いわれたことが、まだ、頭にこびりついていて、それで、じぶんを、もつと、もつと、かわいい子にしたいくて、理はつ店^{りはつみせ}にいく気になったんだとおもうよ。

それから、ぼく、ママにいったんだ。

「服^{ふく}をきかえて、いこうつと。」

ママ、ぼくが、すなおに、理はつ店^{りはつみせ}にいくといたので、びっくりしたらしかったけど、そのぼくが、また、そんなことをいいだしたので、なおさら、おどろいたようだった。

「あら、理はつ店^{りはつみせ}にいくのに、おめかししていくの?」

「だって、この服、みっともないんだもん。」

「**キ**まあ……」

ママは、くすくすわらったけど、なにもいわなかった。

そして、ふわふわした黄色いシャツと、青いズボンをだしてくれた。

この黄色いシャツ、ポケットのところには、ヨットのししゅうがしてあって、ぼくのお気にいりのシャツなんだ。

「じゃあ、いってきます。」
ぼくは、服をきかえてでていこうとしたけど、**ク**だいじなことをわすれていたの、あわてて、ママにいった。
「**ケ**きょうの漢字のテスト、百点だったよ。」

(大石真「ミス3年2組のたんじょう会」より)

(1) — 線**ア**「あいづちをうって」は、どういう意味ですか。最もふさわしいものを次から一つ**えら**びなさい。

- ① おかしそうに手をたたいて
- ② あきれたようにかたをすくめて
- ③ ふしぎそうに首をかしげて
- ④ さんせいするようにうなずいて

ヒント

「ちよっと、○○○○みたいね」(10行め)といった子は、どんなようすでこのことばをいったのか、考えてみましょう。

(2) — 線**イ**「赤くなっちまった」とありますが、「ぼく」が赤くなったのはどうしてですか。最もふさわしいものを次から一つ**えら**びなさい。

- ① 五年の女の子に弟にしたいといわれ、ばかにされたようで、くやしかったから。
- ② 五年の女の子に弟にしたいといわれ、おどろいて少しこわくなったから。
- ③ 五年の女の子にじぶんが「かわいいじゃない」といわれ、てれくさかったから。
- ④ 五年の女の子にじぶんが「かわいいじゃない」といわれ、いじめられるのかと思ったから。

ヒント

— 線のすぐ後に、「赤くなっちまった」理由が書かれていることに注目しましょう。

(3) **ウ**・**エ**にあてはまることばの組み合わせはどれですか。最もふ

さわしいものを次から一つ**えら**びなさい。

(6)

線キ「まあ……」といったときの「ママ」の気持ちについてせつ明
した次の文の **あ**・**い** にあてはまることばとして最もふさわしい
ものを、あとの①～④からそれぞれ一つずつ選びなさい。

・いつもは理はつ店に **あ** 「ぼく」が、きょうはすなおにいくといい、
そのうえ **い** というのでおどろいている。

あ

- ① すすんでいく
- ② いきたがらない
- ③ ひとりではいけない
- ④ あそびに行く

い

- ① 女の子に「かわいい」とほめられた
- ② じぶんをもっとかわいい子にしたい
- ③ きょうの漢字のテストで百点をとった
- ④ わざわざ服をきかえて理はつ店に行く

あ

い

ヒント

「まあ……」とは、「ママ」のおどろきの気持ちであらわしたことは
です。ママがおどろいた一つめの理由は、「理はつ店にいつてらっし
ゃい」(28行め)といったとき、「ぼく」がいつもとちがう返事をした
こと。そして、もう一つの理由は、「ぼく」が「服をきかえて、いこ
うと」(40行め)といったことです。

(7)

線ク「だいじなこと」とはどんなことですか。最もふさわしいもの
を次から一つ選びなさい。

- ① きょう漢字のテストがあったということ。
- ② 漢字のテストがよくできたということ。
- ③ でかける前に「いってきます」ということ。
- ④ 女の子に「かわいい」とほめられたこと。

ヒント

「だいじなこと」を思い出した「ぼく」が、その次にとった行動に注目
しましょう。

(8) — 線ケ「きょうの漢字のテスト、百点だったよ」の部分ぶぶんを声にだして読むとき、どのように読むのがよいですか。最ももっとふさわしいものを次から一つえら選びなさい。

- ① ゆっくりとくやしそうに読む。
- ② 早口でらんぼうに読む。
- ③ 大きな声でうれしそうに読む。
- ④ 小さな声でささやくように読む。

ヒント

「ぼく」が、このことばをいっている様子ようすを思いうかべてみましょう。「ぼく」にとって「漢字かんじのテストが百点だった」ということは、どんなことだったのでしょうか。

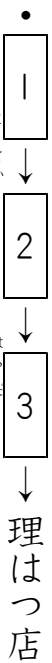
(9) この文章ぶんしょうを時のうつり変わりに注目ちゅうもくして大きく二つに分けるとすると、後半はどこから始まりますか。次から一つえら選びなさい。

- ① 20行めから
- ② 26行めから
- ③ 36行めから
- ④ 39行めから

ヒント

この文章ぶんしょうは、「ぼく」が学校にいる場面ばめんから始まり、前半では「学校のできごと」がえがかれていますが、とちゅうで時がうつり変わかり、後半では「家にかえってからのできごと」がえがかれていきます。

(10) 「ぼく」が、理はつ店にいくまでにいどうした場所ばしよを、じゅん番にならべるとどうなりますか。次の①②③④⑤⑥から一つえら選びなさい。



- ① 校庭・教室・原田くんの家
- ② 校庭・教室・自分の家
- ③ 校庭・自分の家・原田くんの家
- ④ 教室・校庭・自分の家
- ⑤ 自分の家・校庭・原田くんの家
- ⑥ 自分の家・校庭・教室

ヒント

物語文ものがたりを読むときは、時間と場所ばしよに注目ちゅうもくして、場面ばめんを思いうかべながら読むようにしましょう。

(11)

この文章で、作者がえがきたかったのは、どんなことですか。最もふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ① 「かわいい」といって「ぼく」をからかう女の子たちのようです。
- ② かわいい子になるために毎日どりよくしている「ぼく」のようです。
- ③ 漢字のテストで百点をとって上きげんになった「ぼく」のようです。
- ④ 女の子に「かわいい」といわれてとくいになった「ぼく」のようです。
- ⑤ おめかしをする「ぼく」をほほえましく見まもる「ママ」のようです。

ヒント

「ぼく」が「げんきよく、教室にかけていった」(20・21行め)のも、「理はつ店にいく気になった」(38行め)のも、女の子に「かわいい」といわれてうれしかったことがきっかけでしたね。

③ ことばの問題にチャレンジ!

◆ 五十音図

「五十音図」について、後の問いに答えなさい。

⑩	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	②	カ	ア
(キ)	⑨		⑥	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	
	ル	⑧	⑦	フ	⑤	④	ス	①	ウ	
(エ)	レ		メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	
	ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	③	コ	オ

(1) 五十音図の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩にあてはまる文字を、カタカナで書きなさい。(とめる・はねる・はらうなどにも注意し、正しい形で書くようにしましょう。)

①	□	②	□
③	□	④	□
⑤	□	⑥	□
⑦	□	⑧	□
⑨	□	⑩	□

(2) 「イ」「フ」「ユ」「レ」「ロ」をひらがなに直しなさい。

イ	□	フ	□	ユ	□	レ	□	ロ	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(3) 次のカタカナの筆順を、例にならって、一画ずつふやしていくかたちで答えなさい。

例

チ	一	↓	ニ	↓	チ
---	---	---	---	---	---

1	モ	□	↓	□	↓	□	2	ヨ	□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

◆ 漢字の音と訓

漢字の読み方には、音読みと訓読みとの二通りがあります。

① 音読み…その漢字の中国式をまねた読み方。

※ 漢字の中には、音読みしかないものがあります。

例 医 (イ) 央 (オウ) 界 (カイ) など

② 訓読み…その漢字のもっている意味を日本の言葉に当てはめた読み方。

※ 漢字の中には、訓読みだけのものがありますが、小学校で習う漢字の中には六字しかありません。

例 皿 (さら) 畑 (はたけ) 箱 (はこ) など

③ 音読みと訓読みの見分け方

- ・ 音読み…ふつう、発音を聞いただけでは意味のわかりにくい読み方。
- ・ 訓読み…ふつう、発音を聞いただけで意味のわかる読み方。

例

村	ソ	ン
むら	↓	音読み
→	訓読み	

チャレンジ問題①

次の——線(1)～(5)の漢字は、音読み・訓読みのどちらで読むのがふさわしいですか。音読みなら①を、訓読みなら②をマークしなさい。

(1) 高原に住むおじいちゃんの家遊びに行⁽²⁾った。⁽³⁾朝とれたばかりの山菜⁽⁴⁾を天⁽⁵⁾ぷらにして、麦の入ったごはんにオクラと長いもをかけて昼食にした。

解答らん

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②

◆ 主語と述語

「。」から「。」のひとまとまりを「文」といいます。文を意味の上からも発音の上からおかしくないように、できるだけ短く区切ったときのひと区切りを「文節」といいます。「文節」を見わけるとは、「ネ」「サ」「ヨ」などをはさみこんでみるといいでしょう。

例 バラが美しく咲いた。

主語と述語は、文の骨格を作る大切なものです。

① 主語：「何が(は)」「だれが(は)」にあたる言葉を「主語」といいます。主語は、原則として一文節です。

「わたしは」「夕日が」「弟も」「雨まで」 など

② 述語：「どうする」「どんなだ」「何だ」にあたる言葉を「述語」といいます。述語は、原則として文末の一文節です。(言葉の順序が入れかわっている場合もあるので、そういうときは文末にはきません。)

※ 「広い」「四年生だ」 など
※ 主語・述語ともに、省略される場合もあります。

「(あなたは)だれにたのまれたの?」 ↓主語の省略
「あつ、UFOが(飛んでいる)。」 ↓述語の省略

③ 主語と述語の見つけ方

例 まつかな バラが 美しく さいた。

- 1 まず、文末の述語を見つけてみます。……「さいた」
- 2 次に、「何が」さいたのかと考え、前にもどってさがします。
- 3 さいたのは「バラ」ですから、「バラが」の文節が主語です。

チャレンジ問題②

次の(1)～(3)の文について、主語と述語をそれぞれ選んで、番号をマークしなさい。

- (1) ① となりに ② すわっている ③ 人は ④ わたしの ⑤ 祖父です。
- (2) ① 太陽の ② 光線が ③ きらきらと ④ まぶしい。
- (3) ① とても ② 速いぞ、 ③ あの ④ 電車は。

解答らん

(3) 述語	(3) 主語	(2) 述語	(2) 主語	(1) 述語	(1) 主語
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④
				⑤	⑤